

第一経営

(株) 第一経営相談所
税理士法人 第一経営
社労士法人 第一経営

2025年夏号
No. 189

経営理念

私たちは、お客様とそこに働く人々の
夢と幸せを実現するために行動します。

- ・納税者の権利を守り、中小企業と国民が主人公の税制をめざします。
- ・中小企業の経営の発展と、平和で豊かな地域社会をつくることに貢献します。
- ・中小企業家の多面的な要求解決のために努力します。
- ・私たちは共に成長し、働く喜びを実現します。

Contents

P2	特集 第一経営・ぐる〜ぷ1 第36回定期総会
P3	事業部情報(育児も介護も仕事もあきらめない時代へ)
P4	ブロック企画(東・南部ブロック 第76回ゴルフコンペ) ／(西部ブロック おがわまちなか散歩ツアー)
P5	お客様紹介(ユニオントレーディング株式会社) ／休憩室(自家栽培の喜び)
P6	原水禁大会のご案内／BOOK私のおすすめ



「ウチで良い人材の採用なんてムリ」 そんな悩みを解決します。

6月25日、ホテルブリランテ武蔵野に於いて「第一経営・ぐる～ぷ1 第36回定期総会」を開催いたしました。会員の皆様をはじめお客様83名の参加をいただき、全体では150人の総会になりました。誠にありがとうございました。

総会は第一経営グループ代表・薮喜美雄のあいさつ、基調講演、活動報告、分散会、懇親会と昨年引き続き通常通りの総会となりました。

基調講演は「ウチで良い人材の採用なんてムリ」そんな悩みを解決します。



深澤了氏

と題して、むすび株式会社代表取締役深澤了様からお話をいただきました。「みなさんの会社の採用課題はなんですか？」と疑問を投げかけ、なぜ採用ができないのかを解き明かしていきました。

採用しにくいのは大企業が採用数を増やしていること、定着しにくいのは簡単に内定を出すことだとし、さらに採用しにくく定着しにくい構造として、少子高齢化、採用担当の評価が採用数のみ、採用と教育が計画的・体系的にで



きていない、上から目線の採用でお手並み拝見のなところがあるとしています。

求職者は大企業しか見えていない、大企業のみが採用できる状況の中で、なぜ、採用ブランディング(会社の理念を打ち出し、理念に共感した人が入社する)は結果が出るのか？入社後の就労・学習で理念浸透がさらに進む、活躍人材になる、売上・利益の貢献という経営にこの流れが起こせるといいます。

総会は、鈴木芳晴ぐる～ぷ1代表世話人から2024年度活動報告、2025年度活動方針が拍手で確認されました。2025年度の方針では本部主催のゴルフ大会やバス旅行などの企画を発展解消し、ブロックごとに企画を充実するという方針が決定され、大きな予算をつけることを決定しました。新年度役員ではあらたに赤城義隆さん(南部)が代表世話人に、加藤誠さん(南部)が新世話人に選ばれました。



赤城 義隆
新代表世話人

長年の間、代表世話人としてぐる～ぷ1の先頭に立って頑張っていたいただいた鈴木芳晴さんは今総会をもって退任となりました。本当にありがとうございました。

新たな方針もとで、新年度の役員さんを先頭にぐる～ぷ1会員のみなさん、また多くのお客さまにも声掛けをして、身近で企画されるさまざまな催しに今まで以上に参加をお願いします。異業種交流組織も大きく発展させたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

本部事務所 吉田 晃

“育児も介護も仕事も あきらめない”時代へ

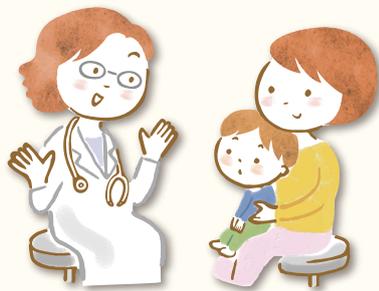


～育児・介護休業法改正のポイント～

2025年、育児・介護休業法が改正され、育児や介護と仕事の両立を支援する制度が大きく前進しました。今回の改正は、育児・介護による離職を防ぎ、誰もが安心して働き続けられる社会の実現を目指すものです。“育児も介護も仕事もあきらめない”時代が、いよいよ本格的に始まります。

2025年4月の改正では、「子の看護休暇」が名称変更して「子の看護等休暇」となり、対象年齢が小学校就学前から小学校3年生修了までに延長されました。取得事由も病気・けが、予防接種、健康診断に加え、感染症による学級閉鎖や入園・入学・卒園式が追加されました。また、所定外労働の制限（残業免除）の対象が3歳未満から小学校就学前の子を養育する従業員に拡大。さらに、介護休業を取得した従業員への復職支援やキャリア支援が企業に求められ、介護に直面した従業員への個別の制度説明と意向確認が義務づけられました。その他、男性の育児休業取得率の公表義務が従業員300人超の企業に拡大されました。

10月の改正では、これまで3歳未満の子どもを対象としていた時短勤務や始業時刻等の変更、テレワーク等の柔軟な働き方の支援が小学校入学前まで拡大されました。育児と仕事の両立が長期にわたり可能と



なり、働き方の選択肢が広がります。また、妊娠・出産等の申出時と子が3歳になる前に、仕事と育児の両立に関する事項について、従業員への個別の意向聴取が企業に義務づけられました。

ご不明点などがありましたら社労士事業部へお気軽にお問い合わせください。皆様の働きやすい職場づくりのお力になれるよう努めて参ります。

施行時期	主な改正内容	対 象
2025年 4月	子の看護休暇の取得事由の拡大	小学校3年生修了までの子の親
2025年 4月	所定外労働の制限（残業免除）	小学校就学前の子を養育する親
2025年 4月	介護休業の取得・介護両立支援制度等の利用の意向確認	介護に直面した従業員
2025年10月	育児期の柔軟な働き方（時短・始業時刻等）の拡大	小学校入学前の子の親
2025年10月	妊娠・出産等の申出時、子が3歳になる前に、仕事と育児の両立に関する意向聴取	妊娠・出産等の申出する従業員、3歳未満になる子がいる親

本部事務所 特定社会保険労務士 原富 怜

東・南部ブロック 第76回ゴルフコンペ



第76回ぐる～ぷ1東・南部ゴルフコンペが4月22日(月)に開催いたしました。場所は「熊谷ゴルフクラブ」にて22名の参加となりました。春の木漏れ日が差し込み、清々しい風が吹くコンディションで開催することができました。

今回は、幅が比較的狭く、ミドル及びロングコースが多いことから1打1打正確性が必要なOUTコースと樹木やバンカーの絶妙な配置から難易度が上がり、戦略性が求められるINコースの計18コースで競技



が行われました。当会長である株式会社ニシワキ工

業の西脇冠さんのご挨拶でスタートし、6組に分かれて前半のOUTコースでは、飛距離が伸びず打数を重ねてしまい苦戦する方、後半のINコースではバンカーに捕まりながらも戦略を立てながら楽しめる姿が印象的でした。私自身は非常に苦戦し、お客様からコース取りを教えていただき、楽しみながらお客様との交流を深めることができました。

例年よりも暑さが増してきている中で四季折々の風景を見ながら、木々が揺れる心地の良い音に魅了され、参加されたお客様からも笑顔があふれていました。

次回は、10月9日(木)の開催を予定しております。これまでに参加されたお客様はもちろんのこと、新たに参加したいお客様やご興味のある方は、お問い合わせください。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

集合写真

川口事務所 神保 直弥
連絡先:n_jinbo@daiichi-keiei.com

西部ブロック企画 おがわまちなか散歩ツアー



旧玉成舎主屋



紙漉き体験

4月19日に、ぐる～ぷ1西部ブロックでは、埼玉県の小川町で散歩ツアーを行いました。小川町は、長い歴史を持つ町で、江戸時代には物流の要所として栄えました。盆地の中央に川が流れる景観から、「武蔵の小京都」とも称されています。

今回、伝統工芸の和紙づくりを体験しました。水に手を入れ、漉き舟を上下左右に動かしながら紙を漉く作業は、厚みを均一にするのが難しく、職人の技術の奥深さを改めて実感しました。昼食には、日本五大名飯の一つ「忠七めし」をいただき、香り高い出汁とゆずが効いた上品な味わいに感動しました。

町を歩けば、歴史と文化を感じさせる街並みが広がり、どこを切り取っても魅力にあふれています。皆さんもぜひ一度足を運んでみてはいかがでしょうか。

町を歩けば、歴史と文化を感じさせる街並みが広がり、どこを切り取っても魅力にあふれています。皆さんもぜひ一度足を運んでみてはいかがでしょうか。

川越事務所 下澤 聖



お客さま紹介

お客様を大切にしながら、地域に根ざして奮闘している会社のなかから、今回はユニオントレーディング株式会社様をご紹介します。

ユニオントレーディング株式会社

埼玉県さいたま市大宮区桜木町4丁目252 Tel 048-641-1388 代表取締役 牧野 茂正

ユニオントレーディング株式会社は1947年創業の老舗アパレル企業です。製品の企画・製造・輸入・卸売・小売を行っており、日本最初のミリタリーブランドとしてオリジナルブランド「HOUSTON」を中心に、セレクトショップ「UNION」の直営店運営やオンラインショップの展開も行っています。自社工場生産ならではのミリタリーウェアの高い再現性や、企画から製造、販売まで一貫して行う体制が整っていることが強みです。

昨今のアパレル業界は低価格競争の激化やECサイトの販売拡大等めまぐるしく変化しており、時代に合わせた対応が求められています。ユニオントレーディングもオンライン販売を行っていますが、商品を手にとることで質の高さがより伝わることから、実店舗販売を特に大切にしています。「これからの時代、ただモノを売るのではなく人を売っていきたい」最終的に商品の良さを広めるのは「人」であり、商品を身に着けた人の容姿のみならず価値観・考え方に憧れる気持ちが原動力となって商品が世へ広まっていくと牧野社長は考えています。

左から2番目が牧野社長



一方、店舗を維持拡大するために必要不可欠なのが人材確保であり、今後の課題です。社員のライフプランの変化にも対応できる体制を整え、そのモデルケースとなる社員を育成することで後輩社員も安心して勤務することができ、会社が活性化していきます。中小企業の強みである現場との距離の近さを大切に、社員の声に耳をすませ改善・反映していくことで、人に選ばれ商品が選ばれる会社づくりを目指しています。

休憩室 自家栽培の喜び

昨年の夏頃、自宅にて枝豆栽培に挑戦してみました。枝豆は、手軽に育てられる上、収穫の楽しみもあり、忙しい日常に少しでも自然を取り入れたいのがきっかけです。

初めての栽培だったので、土をふかふかにして、日当たりの良い場所を選びました。毎日の水やりと、芽が出るのを楽しみに待つ日々。数週間後に小さな芽が顔を出し、日に日に成長する様子を見守るのがとても楽しく、あっという間に大きくなりました。

枝豆は比較的育てやすい野菜ですが、やはり少しの手間が必要です。間引きをしっかりと行い、害虫にも注意を払いながら育てました。そして、8月にはいよいよ収穫！そのまま茹でて食べた枝豆は、スーパーで買ったものとはひと味違う、甘みと風味が感じられ、とても満足感のある一品となりました。

今年の夏は、自分で育てた枝豆でビールがさらに美味しく感じられそうです。



熊谷事務所 大平 はるか



今年は
被爆80年

被爆者とともに 「核兵器のない世界」の実現を

被爆80年・原水爆禁止2025年世界大会が広島・長崎で行われます。今年のテーマは「被爆者とともに、核兵器のない平和で公正な世界を一人類と地球の未来のために」として、広島・長崎両方を主会場として開催されます。（開催日程表参照）

被爆80年の今年の世界大会は、あの原爆投下によるこの世の地獄を経験し「もう二度と同じ体験を世界の誰にもさせてはならない」との被爆者の切実な願いと、「核兵器と人類は共存できない」「核兵器で平和と安全は守れない」との訴えを、深刻かつ喫緊の課題として世界に発信します。

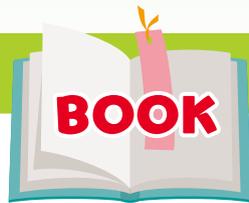
世界大会期間中、日本政府に核兵器禁止条約参加を求め草の根の国際共同行動「広島・長崎被爆80年世界平和の波」が取り組まれ、国内外の核兵器廃絶のための共同・交流が図られます。

第一経営の経営理念に「平和で豊かな地域社会をつくることに貢献」する立場で趣旨に賛同します。



日	会場	内容
8/3(日)	国際会議	開会総会、第1,2,3セッション
4(月)		第3セッションの続き、閉会総会 被爆体験の継承と未来—被爆80年 広島のみ—
5(火)	広島	世界大会
6(水)		フォーラム、分科会、動く分科会 ヒロシマデー集會
7(木)		被爆体験の継承と未来—被爆80年 長崎のみ—
8(金)	長崎	世界大会
9(土)		フォーラム、分科会、動く分科会 ナガサキデー集會

被爆80年・原水爆禁止
2025年世界大会日程表



私のおすすめ

「伝え方」を工夫するだけで、相手の反応や結果が大きく変わるという事実気づかせてくれる本です。相手の心を動かす伝え方の技術を、具体例を交えて分かりやすく紹介しており、すぐに実践できる内容ばかりです。



ただ思ったことを伝えるのではなく、相手の立場や気持ちに寄り添って言葉を選ぶことの大切さを学べます。言葉の力を見直したい人、説得力を高めたい人におすすめの一冊です。

越谷事務所 薄井 夕果



「伝え方が9割」
佐々木 圭一 著

編集後記



梅雨明けと同時に、まるで待っていたかのような真夏の太陽が顔を出し、出かけるたびに汗を拭く日々が続いております。私にとっての夏の訪れは地元で最盛期を迎えた「さくらんぼ」です。

毎年、祖父母から送られてくるのですが、その実は真っ赤に色づき、甘酸っぱ

い味わいです。美味しいだけでなく、地元で過ごした日々を思い出させてくれます。今年も帰省しようかな、まだまだ暑い日が続きますが、皆様体調に気をつけてお過ごしください。

川口事務所 神保 直弥

表紙写真

福島・喜多方市側から磐梯山方面を撮影したものです。撮影後、磐梯吾妻スカイラインで吾妻小富士へ移動。近くの大穴火口からは火山ガスの噴出も認められ、現在も熱活動が継続しています。（気象庁→吾妻山、磐梯山、安達太良山 噴火警戒レベル1）

越谷事務所 遠藤 和之

発行

株式会社 第一経営相談所
〒330-0835 さいたま市大宮区北袋町 1-332

経営本部 総務部
TEL 048(650)0101

表紙の写真募集

担当者（山中・吉田）にご連絡下さい。

ホームページ <https://www.daiichi-keiei.com/>